

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	大師公園	評価対象年度	平成23年度
事業者名	・事業者名 財団法人川崎市公園緑地協会 ・代表者名 理事長 碓 親二 ・住所 川崎市中原区等々力3番12号	評価者	管理課長
指定期間	平成21年 4月 1日～平成24年 3月31日	所管課	川崎区役所道路公園センター管理課

2. 事業実績

利用実績	平成23年度は、軟式野球場及び庭球場においては平年並みの利用状況であった。軟式野球場については、東日本大震災の影響でナイター施設の供用を停止した期間があり、供用コマ数・利用者も若干減少しましたが、未利用コマの有効活用を図り、近隣学校の建て替えに伴うグラウンドとして利用されました。また、藩秀園入場者は、昨年度より1,000名減少の84,000名に留まり、来園者の長期低落傾向が続いており、市としても、施設のリニューアルを始めとした対策が求められています。
収支実績	平成23年度は、指定管理事業収入、自主事業収入及び前期からの繰越金の総額45,700千円の収入額により管理運営されましたが、賃借料は平成22年度執行額に比して555千円減少し、その一方で、消耗品費は900千円、委託料は1,396千円、修繕費は557千円、原材料費は612千円それぞれ増加し、支出総額は41,439千円となりました。修繕費及び原材料費の増加は、台風の被害への対応と野球連盟との協働事業による施設整備を実施したことによるものです。最終的な事業経費繰入額は、平成18年度から平成20年度までの前指定管理期間と同水準の4,260千円となりました。
サービス向上の取組	利用者が安全に安心して公園を利用するために、施設の維持管理、園内清掃、有料施設の整備、芝生管理、樹木管理及び園内巡視等は必須の事柄です。現在の指定管理者は、経験豊かな職員を配置し、その業務に当たっていますが、「公園の不適切利用者や、公園の利用に際してマナーを守らない者が後を絶たない」のが実情です。マナー遵守の徹底については、継続的な取り組みが求められています。

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	利用者満足度	利用者のニーズ等を捉えるための具体的方策を実施しているか	12	3	7.2
		利用者ニーズ等を適切に分析しているか			
		意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)			
	事業成果	事業実施における自己評価を行っているか	8	3	4.8
当初の事業目的を達成することができたか					
(評価の理由) 平成23年度の利用者からの苦情・陳情・意見・要望は、サンキョウコール(2件)事務所窓口(13件)アンケート(23件)を収集し、苦情・要望については、直ちに対応し、公園の管理運営に活用しています。寄せられた意見・要望の中には、施設の老朽化等、市により改修すべき事案も多く、具体的方策の解決に至らないのが現状です。事業成果につきましては、計画された通年どおりの維持管理が実施され、当初の目的を達成しました。					
収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	9	3	5.4
		支出に見合う事業が行われているか			
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか			
	適切な金銭管理・会計手続	指定管理経費とその他業務に係る経費を区分し、適切に管理しているか	6	3	3.6
事業収支に関して適正な会計処理が為されているか					
(評価の理由) 通年の予算と平成23年度予算が大きく異なったのは修繕費です。これは前2年の指定管理期間における事業経費繰入額を、最終年度の修繕費に計上し、「カナルの橋2基・循環ポンプの大規模修繕を実施する。」とし、市への還元策を策定していました。しかしながら、平成24年以降の指定管理者募集時に大規模修繕の解釈の相違が表面化し、修繕費の執行には至りませんでした。この金額が最終年度の事業経費繰入額となったものです。指定管理制度としての問題は特段無いと確認していますが、事業経費繰入額が多額なので、今後は有効に執行するよう指定管理者と協議します。修繕費以外の収支計画は、例年と同額程度の執行でした。					
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	9	3	5.4
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	業務改善によるサービス向上	業務の遂行にあたって、現状分析、課題把握に取り組んでいるか	9	3	5.4
		業務改善が必要な場合に、改善策の検討と実施が行われているか			
	利用者の意見・要望への対応	利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	9	4	7.2
利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか					
(評価の理由) 公園利用者が、安全に安心して公園利用できる空間を醸成することは、公園管理の基本であり、中心的な課題です。毎日の公園清掃やゴミの収集・危険箇所の日常点検を計画に基づき実施していました。また、サービスの向上を目指し、台風等の自然災害や事故を想定した避難訓練実施など年間計画を策定し、「安全を守る体制」を整備し、実行していました。					

組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	6	3	3.6
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか	4	3	2.4
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修・会議等が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか			
	安全・安心への取組	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	4	3	2.4
		緊急時に警察や消防など関係機関と速やかに連携が図れるよう、連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	4	3	2.4
	職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか			
	環境負荷の軽減	環境に配慮した調達や業務実施が行われているか	2	3	1.2
(評価の理由) 有料施設の受付業務や施設維持管理業務に経験を有する職員を配置し、適正に行を執行しました。管理水準の向上の為に、本部職員による作業手順・実施方法・厳守事項の学習会等を開催し、意欲的に自己啓発に取り組みました。今後はチェックリスト・マニュアルの更なる充実を図りながら、管理体制を整えていただきたい。また、個人情報の保護については、法令順守に努めていました。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	18	3	10.8
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか			
	清掃業務	施設内の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか			
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	植栽管理	植栽等の維持管理を適切に実施しているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか			
	(評価の理由) 平成23年度有料施設使用実績表や、維持管理実績表を参考として、業務の年間計画や実施状況を精査したところ、計画された通年度の管理水準を満たした業務実績でした。外部委託の高木剪定やトイレの清掃などは管理水準を考慮した経費を注入し、状況に応じた管理を実施していました。川崎地区少年野球連盟と協働したグラウンド整備等は、公園の管理運営に対する利用者の参画を促し、その力を活用することで経費削減に寄与していました。				

#### 4. 総合評価

評価点合計	61.8	評価ランク	C
-------	------	-------	---

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<p>公園利用者が安全に安心して利用できる公園を提供するためには、園路、施設の安全点検を初め、きめ細かな清掃等の確実な実施が必要です。市民ボランティアの育成指導や、川崎地区少年野球連盟と協働したグラウンド整備等は、市民協働の実践として今後の公園維持のあり方を模索する上で、望ましい活動となりました。また、台風災害により野球場の緊急整備のような不測の事態に対する処置も適切に実施されていました。以上のことから、指定管理業務全般について、大きな問題も無く、指定管理者としての目標は達成されました。</p>
--

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

<p>従来からの問題でもあった夜間の不正行為や悪戯は後を絶たず、公園管理の大きな問題となっています。警察との連携強化や、パトロール強化では限界があることから、防犯カメラの導入等、新たな対策が必要となっていますので、指定管理者と協議し、実行計画の一層の充実を努めます。日々の維持管理については、チェックリスト・マニュアルの活用・充実に努めると共に、セルフモニタリングも、モニタリング項目の統一や適正化について、一層の協議を進めます。</p>
---